

試験依頼番号：24D-BT-048-3

報告書作成日：平成24年8月7日

殺カビおよび殺虫試験

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-21-6 TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832

本報告書を他への転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

<http://www.kabi.co.jp>

試験依頼番号：24D-BT-048-3

試 験 検 査 報 告 書

試験依頼者： 社会福祉法人 埼玉福社会
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 殺カビおよび殺虫試験
試験責任者： 李 憲俊

平成24年7月9日、当センターに提供された検体について行った試験
結果は次のとおりです。

平成24年8月7日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-21-6
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書を他への転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

殺カビおよび殺虫性能試験

1. 目的

検体の殺カビおよび殺虫効果を調べる。

2. 検体

バイオマスター/BM-60AC

3. 試験カビ

Aspergillus niger NBRC 6341

Eurotium herbariorum HMRC 5016

4. 試験方法

4-1. 殺カビ性能試験

1) 試験孢子液作製

試験カビはポテトデキストロース寒天培地 (PDA) または M40Y 寒天培地に接種し、25°C、1 週間培養後、0.05% Tween 80 溶液を用いて、孢子数が 10^6 、 10^4 、 10^2 /mL になるように作製したものを試験孢子液とした。

2) 試験試料の作製

試験カビをフィルム用マウントに設置した紙に接種したものを試験試料とした。

3) 殺カビ処理および効果確認

バイオマスター/BM-60AC で 8 時間くん蒸処理を行った試験試料中カビの生菌数を測定した。

4-2. 殺虫性能試験

バイオマスター/BM-60AC で処理したコクゾウムシの成虫の生死有無を肉眼および顕微鏡で確認した。また、コクゾウムシが産卵した米は、25℃、相対湿度 95%以上の環境で培養した。

5. 試験結果

検体の殺カビ性能試験の結果を表 1 に示した。

殺虫試験を行った成虫を肉眼および顕微鏡で観察した結果、死滅が確認された (写真 1)。また、培養した米からも虫は確認されなかった。

表 1. バイオマスター/BM-60AC の殺カビ試験成績

試験カビ	接種菌量/mL	生菌数 (cfu/mL)	
		処理前	処理後
<i>Aspergillus niger</i>	4.1×10^4	2.3×10^4	$< 10^1$
			3.0×10^1
			$< 10^1$
<i>Aspergillus niger</i>	3.8×10^2	3.3×10^2	$< 10^1$
			$< 10^1$
			$< 10^1$
<i>Eurotium herbariorum</i>	2.7×10^4	1.2×10^4	1.0×10^1
			$< 10^1$
			$< 10^1$
<i>Eurotium herbariorum</i>	2.2×10^2	2.1×10^4	$< 10^1$
			$< 10^1$
			$< 10^1$

$< 10^1$; 試験液 0.1mL 培養により菌が検出されない。

以上



写真1. バイオマスター/BM-60AC 処理後のコクゾウムシ